

札幌麻生脳神経外科病院に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録などをまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 急性期血行再建術前の非造影 MRA によるアクセスルートで診断した
Aorta type III 病変に対する最適カテーテルの検討

[研究機関] 札幌麻生脳神経外科病院

[研究責任者] 小林 聡

[研究分担者] 矢野 俊介

[研究の目的]

急性期血行再建術前の MRA による para-aorta を含めたアクセスルートを用いて、高難度病変の1つである大動脈弓 type III に対して、治療初期より用いる Simmons 型カテーテルまたは JB-2 型カテーテルを比較し、再開通時間の短縮が可能な最適なカテーテルを検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

北海道大学病院関連施設(岩見沢市立総合病院、札幌麻生脳神経外科病院、小樽市立病院)で実施した急性期脳梗塞となり、血栓回収術を施行した症例

●対象となる期間

2018年4月～2022年7月

●利用する情報

年齢、性別、基礎疾患、脳梗塞の種類、穿刺からデバイスを病変部まで誘導する時間 (Puncture to placing device time: P to D)、穿刺から再開通までの時間 (Puncture to recanalization: P to R)、病院到着から再開通までの時間 (Door to Recanalization: D to R)、病院到着から穿刺までの時間 (Door to placing device time: D to D)、カテーテル変更率、退院時 mRS0-2

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も情報は匿名化しますので、患者さんのプライバシーは守られます。

なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。また、本研究の目的以外には得られた情報を用いません。

[お問い合わせ]

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。情報提供を希望されない場合は、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。そのような場合でも、診療上不利益を被ることはありません。

ただし、お申し出いただいた時点ですでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、情報を完全に破棄できないことがあります。

[問い合わせ先]

北海道札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1-3
医療法人 札幌麻生脳神経外科病院
担当医師 矢野 俊介
電話 011-731-2321 FAX 011-731-0559